
2017年2月期第2四半期 決算発表説明会

イオンディライト株式会社 

代表取締役社長 中山 一平

2016年10月6日

1 2016年度 上期決算報告

2 優先経営課題に対する取り組み

3 2016年度 下期の取り組み

増収増益、過去最高益を更新

連結要約損益計算書 (単位：億円、%)	16/2月期 2 Q		17/2月期 2 Q		対前期増減	
	実績	構成比	実績	構成比	前期差	前期比
売上高	1,427	100.0%	1,514	100.0%	86	106.0%
売上総利益	185	13.0%	195	12.9%	9	105.1%
販売管理費	104	7.3%	110	7.3%	5	105.4%
営業利益	81	5.7%	85	5.6%	3	104.7%
経常利益	81	5.7%	85	5.6%	3	104.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	46	3.3%	53	3.5%	6	114.1%

6事業で増収

清掃事業は白青舎の寄与もあり二桁成長 前年比**114.4%**

連結 (単位：億円)	16/2月期 2 Q	17/2月期 2 Q	
	実績	実績	前期比
設備管理	243	254	104.3%
清掃	233	267	114.4%
警備	186	204	109.7%
建設施工	262	265	101.3%
サポート	86	94	108.8%
資材	245	258	105.4%
自販機	169	169	99.7%
売上高合計	1,427	1,514	106.0%

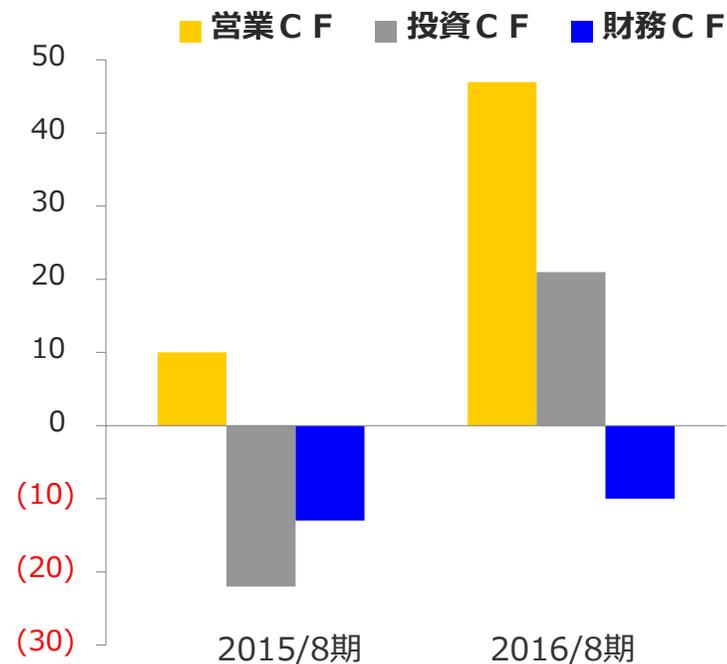
連結貸借対照表

資産の部 (単位：億円)	前年度末 2016/2	当半期末 2016/8	増減額
流動資産	1,056	1,125	69
有形固定資産	70	77	6
無形固定資産	103	99	▲4
投資等	81	84	2
固定資産	256	262	5
資産合計	1,313	1,387	74

負債・純資産の部 (単位：億円)	前年度末 2016/2	当半期末 2016/8	増減額
流動負債	448	481	33
固定負債	25	28	2
負債合計	473	510	36
株主資本	810	851	40
純資産合計	840	877	37
負債・純資産合計	1,313	1,387	74

連結キャッシュフロー計算書

資産の部 (単位：億円)	前年 2015/8	当半期 2016/8	増減額
営業活動による キャッシュフロー	10	47	37
投資活動による キャッシュフロー	▲22	21	43
財務活動による キャッシュフロー	▲13	▲10	3
現金及び現金同等物 の期末残高	128	251	122



1 2016年度 上期決算報告

2 優先経営課題に対する取り組み

3 2016年度 下期の取り組み

環境

影響

取り組み

期待した国内経済
デフレ脱却
とはならず

国内の人口減少

アジア市場の成長

企業の経費削減

低価格路線

国内労働人口不足

国内FM市場の低迷

アジア企業/
FM市場の成長

IFM

省人化

アジアシフト

お客さま企業の経営戦略に立脚したFM戦略を
サポートすることでお客さまの競争力強化に貢献

IFM

マネジメント領域からオペレーション領域を一気通貫したサービス

ファシリティ戦略立案
サポート

ワークスペースの提案・施工、
設備管理、清掃、警備、
建設施工、資材、自販機など

マネジメント領域

お客さま
(経営戦略)

マネジメント部門
(総務・管財)

お客さまのFMパートナーへ

IFM

イオンディライト (FM提案)

エネルギー
マネジメント

ファシリティ
予算管理

コスト削減
計画

BCP

修繕計画
策定・管理

ベンダー管理
評価・指導

統合的サービス

オペレーション領域

イオンディライト・関係会社・協力企業

設備

清掃

警備

省エネ

建設施工

資材

自販機

ワーク
スペース

人事・総務
事務

ケータリング

家事代行

館内配送

BTM

MICE

会議室手配

制服

寮運営

1 作業効率改善・業務効率化による省人・省力化

- (1) 施設毎の特性を踏まえた施設独自の清掃マニュアルの策定
- (2) 設備管理におけるスマホアプリの活用
- (3) アテンダーによるマルチタスクの実行

2 技術イノベーションによる省人・省力化

- (1) 耐久性を向上させた床面コーティング剤の導入
- (2) 清掃ロボット導入（実験段階）
- (3) 設備点検業務のIoT化



アプリ「物業通」の活用で生産性を向上



公共施設で活躍するアテンダー
施設の新たな管理スタイルとしての展開を検討

イオンモール幕張新都心にて
試験走行中の簡易型清掃ロボット



中国事業の拡大

2018年には中国物業管理業界トップ10入りを目指す！！

顧客戦略

- (1) 高品質なサービスが求められる中高級施設
- (2) 再開発エリアでのFM業務の集中的な獲得

取り組み

- 作業ユニット分析による清掃業務の標準化
- 中国における警備業法への先行対応
- 持続的成長に向けて人材育成・教育に注力
幹部人材の訪日研修を継続（4期目）、蘇州工業園区技術学院、
湖北大学との産学連携により人材育成

中国事業の拡大（顧客戦略）

1 高品質なサービスが求められる中高級施設

■ 重点攻略5大マーケット

- ① 中高級レジデンス ② 中高級ショッピングセンター ③ 養老院、病院、介護施設
- ④ ハイエンド工場 ⑤ 交通インフラ施設



受託物件の一例

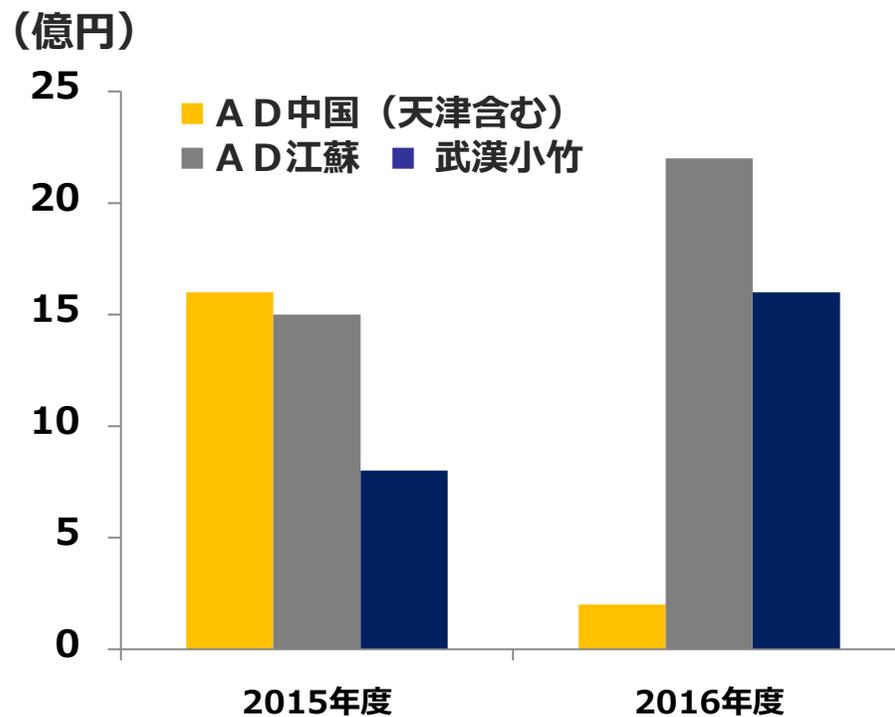
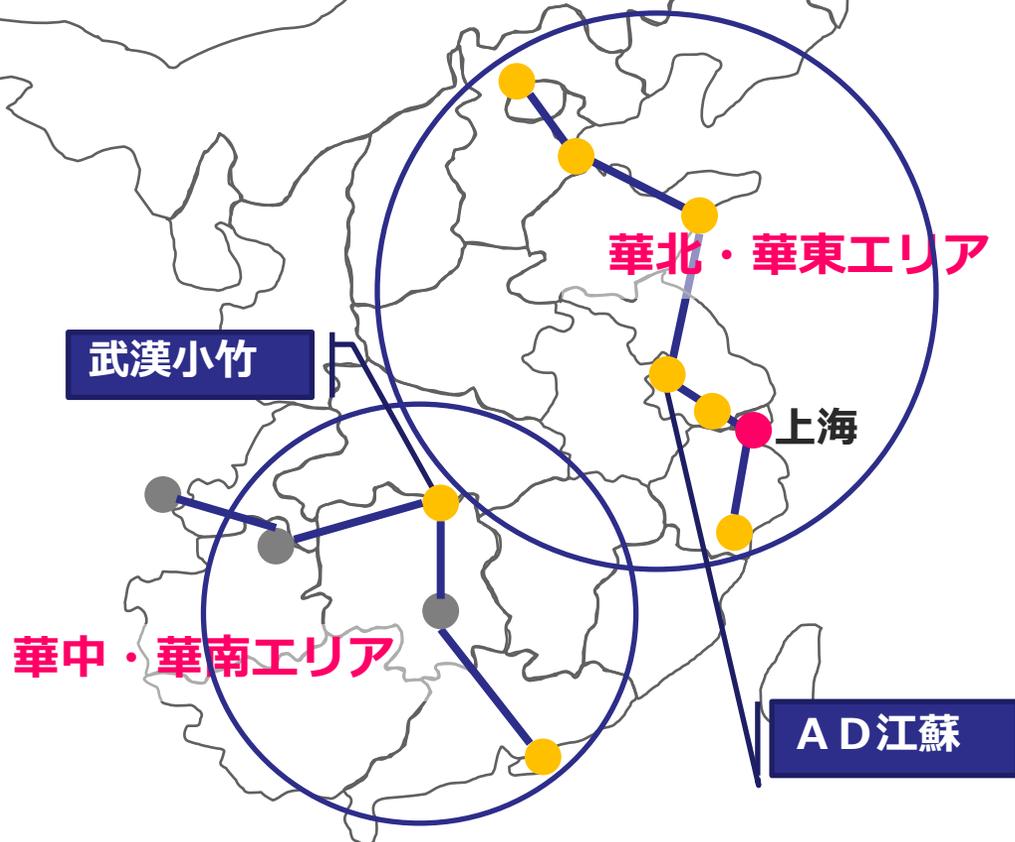
2 再開発エリアでのFM業務の集中的な獲得

蘇州で合併会社設立により28平方キロメートルにわたる再開発プロジェクト「高鉄新城プロジェクト」に参画

- 既進出拠点
- 進出予定地
- 重要拠点

点から面の展開へ

主要エリアへの拠点配置は順調に進行
更なる事業エリア拡大へM&Aも視野に



◆ 中国：事業会社別上期売上高推移

1 2016年度 上期決算報告

2 優先経営課題に対する取り組み

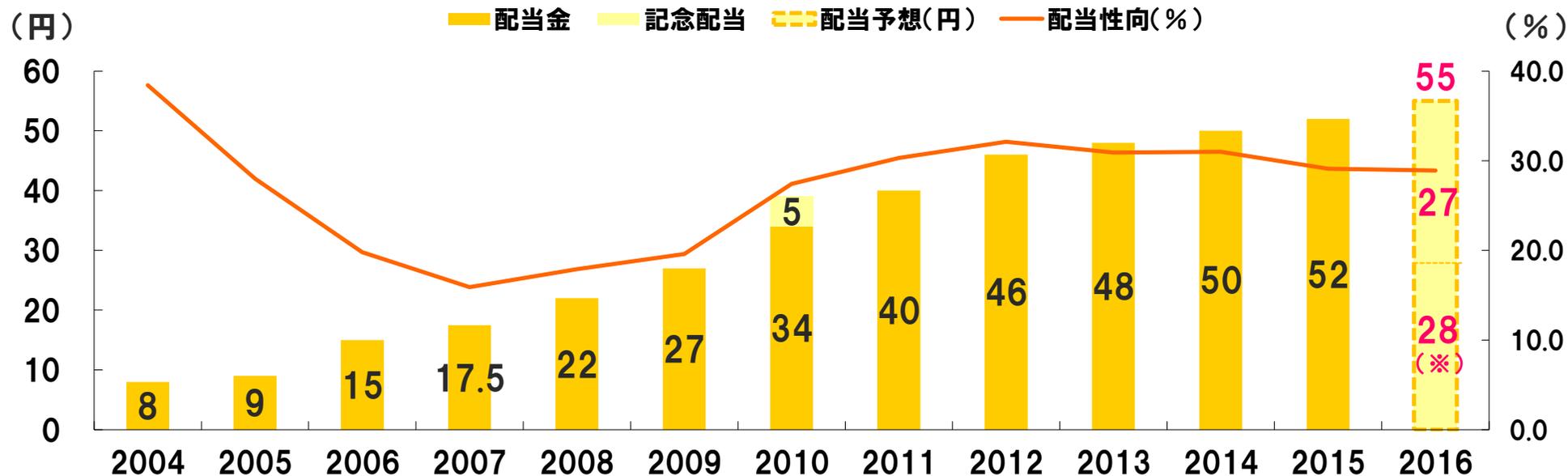
3 2016年度 下期の取り組み

	重点施策	売上前期差
単体	営業、建設施工・資材各事業の重点施策遂行	+ 82 億円
営業	(内) 新規契約の獲得	+ 15 億円
建設施工	(内) 商業施設 テナント入れ替え工事、内装・デザイン工事	+ 50 億円
資材関連	(内) イオングループ各社の資材集約化、トップバリュ包材	+ 17 億円
(国内子会社)		
イオンコンパス	イベント事業、貸し会議室などビジネスサポート事業が好調	+ 4 億円
カジタク	主要取引先への販売強化	+ 9 億円
白青舎	連結寄与	+ 35 億円
(海外子会社)		
海外	進出各国 (中国・マレーシア・ベトナム) でトップライン拡大	+ 20 億円
	その他	+ 3 億円

連結要約損益計算書 (単位：億円、%)	17/2月期			16/2月期	
	実績	構成比	前年比	実績	構成比
売上高	3,050	100.0%	108.5%	2,810	100.0%
営業利益	175	5.7%	104.7%	167	5.9%
経常利益	175	5.7%	104.9%	166	5.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	100	3.3%	103.5%	96	3.4%

2005年度以降、12期連続の増配を目指します

年度	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
配当額 (円)	8.0	9.0	15.0	17.5	22.0	27.0	39.0	40.0	46.0	48.0	50.0	52.0	55.0
配当性向 (%)	38.4	28.0	19.8	15.9	17.9	19.6	27.4	30.3	32.1	30.9	30.1	28.3	28.9



※ 中間配当予想28円には、記念配当1円が含まれます

- この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
 - ◇ これらの記述は、過去の事実だけではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定にもとづく見込みです。そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。
- 資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。
 - ◇ 全て連結を対象として記載
 - ◇ 記載金額は億円未満を切り捨て
 - ◇ 比率は小数点第2位を四捨五入

イオンディライト株式会社
(証券コード：9787)

IR担当連絡先 部署名：グループ戦略本部

責任者名：京本 明志

TEL 043-351-2563

又は、ホームページよりお問い合わせください。

<http://www.aeondelight.co.jp>

本日、発表した内容につきましては発表日当日（2016年10月5日）に入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。